



がん医療相談だより

No.56 平成28年12月号



今月のおはなし

体調を崩さない!



広島大学病院

副病院長、医療安全管理部部長、脳神経外科科長 栗栖 薫

皆さん、色々な病気を克服するために日夜努力されていると思います。患者さんの病気に向かう気持ちと行動を、我々医療者は、それぞれの立場で支援しながら、専門職として診療しています。患者さんとの協働作業ですね。ご存知のように、広島大学病院でも多くの先進的な診断や治療が、患者さんの協力のもと、進められています。正常との隔たりが大きく最もしんどい状況から、より正常に近い状態に近づくよう体内環境を良くして、最終的には患者さん自身の治癒力が病気に勝って治癒することとなります。

ご自身の病気の状態（病態）を理解することは基本的に重要です。しかし、それを詳しく知っている患者さんが全て良くなるとは限りません。詳しい免疫や内分泌、代謝、神経など患者さん本人が知ろうとしても大変なことだと思います。基本的な重要事項をまずは理解して、「行ってはいけないこと」だけはきちんと守る、ことを実践するだけでも、気持ち的には随分楽になると思います。

快食快眠開通は全てに通じることです。より良い状態で治療を進めるためには、「体調を崩さない」、ことです。皆さん、「体調を崩さない！」を合言葉に日常生活を過ごすようにしましょう。

寒い冬を
乗り切りましょう

広島大学病院では、がん等長期療養しながら働きたい方へ向けて、ハローワークと連携し就職支援を行っています。

月1回、就職支援ナビゲーターさんによる就職相談を受けています。

治療と仕事の悩みについて、「がんと仕事のQ&A」や事業主向けに「治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」も作成されており、働きながら治療が継続できるような取組も開始されています。お仕事との両立や継続、仕事への復帰を考えられている方など、



患者サロンのご案内

前回のサロン（11月17日）の内容

がん患者さんを支えるご家族のケアについて、患者さんの身近で対応に悩んだり、不安に思われている気持ちを共有しました。患者さん中心になりやすい生活の中でも、ご家族の心も体も大切にしましょう。

<参加者の声をご紹介します。>

- 交流会で、いろいろ話を伺いたいと思いますが、なかなか発言しにくいと思います。
- 具体例なケースを取り上げてもらいたい。こんなケアもありましたとか。



次回のサロン

平成29年1月19日（木）13:30~14:30

臨床管理棟 3階「3F2会議室」

「婦人科がんの基礎と治療について」

産科婦人科医師 平田 英司先生



患者おしゃべり会のご案内

開催日 平成28年12月27日（火）13:30~14:30
（★次回は、H29年1月24日（火）の予定です）

対象者 がんと診断された方とご家族
場所 診療棟2階 健康情報プラザ（右は入口の写真）
料金 無料（お気軽にご参加ください）

ジャグリングも14:30~予定しています

場所：診療棟3階イベントホール

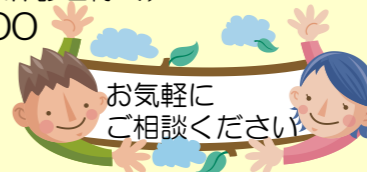
お楽しみに！



がん医療相談（がん相談支援センター）

（診療棟1階 がん治療センター・患者支援センター内）

連絡先 082-257-1525
相談日 月～金曜日（外来休診日除く）
時間 9:00～17:00
相談方法 電話相談
来室による相談
料金 無料



がん医療相談（がん相談支援センター）案内図

